

岡本恵也教授 略歴・業績

〈学 歴〉

1965 年	九州大学経済学部卒業
1967 年	九州大学大学院経済学研究科修士課程修了
1970 年	九州大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期

〈職 歴〉

1970 年	富山大学経営短期大学部講師、助教授
1980 年	熊本大学教育学部助教授
1984 年	熊本商科大学（現熊本学園大学）教授
2014 年	熊本学園大学名誉教授

〈役 職〉

1988 年	1 月	熊本学園大学経済学研究科長（1989 年 12 月まで）
1992 年	1 月	熊本学園大学経済学部長（1996 年 12 月まで）
2010 年	1 月	熊本学園大学経済学部長（2010 年 7 月まで）
2010 年	8 月	熊本学園大学学長（2014 年 7 月まで）
2010 年	8 月	学校法人熊本学園理事・評議員兼務（2014 年 7 月まで）

〈社会活動〉

1990 年	4 月	熊本市都市政策審議会委員（2006 年 10 月まで）
1996 年	4 月	熊本県地方労働委員会公益委員（2000 年 3 月まで）

〈研究業績〉

《論 文》

1970 年	商業信用と産業資本－「宇野理論」における「商業信用論」批判－ 『経済論究』24 九州大学大学院経済学会 89-109
1971 年	銀行信用に対する一考察 『富大経済論集』 第 16 巻 第 3・4 合併号 富山大学経済学部 45-61
1972 年	日本の独占資本と利潤率 1961～1970 『富大経済論集』 第 18 巻 第 1 号 富山大学経済学部 1-32
1973 年	商業信用から銀行信用への展開 『富大経済論集』 第 18 巻 第 3 号 富山大学経済学部 1-20

- 1974 年 産業革命期の地方銀行恐慌－近代銀行への試練－ 『金融経済』 144
金融経済研究所 23-43
- 1975 年 銀行信用と再生産－「資本の前貸と貨幣の前貸」再考－ 『金融経済』
153 金融経済研究所 1-19
- 1975 年 発券集中の歴史と論理－1－ 『富大経済論集』 第20巻 第3号
富山大学経済学部 394-420
- 1983 年 貨幣の前貸と資本の前貸－社会再生産視点について－ 『熊本商大論
集』 第29巻 第2号 熊本商科大学 503-529
- 1983 年 商業信用論再考-1－方法論的観点から－ 『人文科学』 32 熊本大学教
育学部 25-36
- 1985 年 商業銀行と金融仲介機関－社会再生産関連に於て－ 『熊本商大論集』
第31巻 第1・2合併号 熊本商科大学 91-109
- 1986 年 外国為替(1)－信用制度と外国為替－編著 『金・外国為替・国際金融』
ダイヤモンド社
- 1987 年 A Sketch on the Japanese Economy: past,present,future, 単著 『海外
事情研究』 第15巻 第1号 熊本商科大学海外事情研究所 29-34
- 1988 年 金融システムの変化と商業銀行－コリガン・リポートに寄せて－
『現代経済学の諸問題』 熊本商科大学
- 1990 年 スミス信用理論の基本的構想単著 『熊本商大論集』 第36巻 第3号
熊本商科大学 343-361
- 1992 年 金融の基本問題単著 『熊本学園創立50周年記念論集』 熊本商科大学
- 1995 年 6月 前田一郎先生の退職記念号に寄せて 単著 『熊本学園大学 文学・言語
学論集』 第2巻 第1号(通巻第3号) 前田一郎教授退職記念号
- 1997 年 米国銀行業の変貌－バランス・シートを中心に－ 単著 『熊本学園大学
経済論集』 第4巻 第1・2合併号 熊本学園大学経済学会 75-90
- 1998 年 10月 グラス・スティーガル法再考：現代的視点と歴史的文脈 単著 『経済
論集』 第5巻 第1号 熊本学園大学経済学会 197-219
- 1999 年 3月 リバースモーゲージ考：新たなる発想の転換 単著 『経済論集』 第5
巻 第3・4号 熊本学園大学経済学会 393-406
- 2000 年 3月 グラム・リーチ・ブライリー法の成立に寄せて－米国金融システム考
－ 『熊本学園大学経済学部開設三十周年記念論文集』
- 2002 年 3月 銀行とは何か? 『経済論集』 熊本学園大学経済学会
- 2002 年 3月 高齢化社会の資産活用－米国の経験に学ぶ 単 『産業経営研究』
第21号 熊本学園大学附属産業経営研究所 87-105

2002 年	9 月	ベンチャーキャピタルと日本経済の再生－日本は米国から何を学ぶか？－ 単著 『海外事情研究』 第 30 巻 第 1 号（通巻 59 号） 熊本学園大学付属海外事情研究所 145-173
2003 年	3 月	銀行とは何か？－商業銀行と兼営銀行－ 『経済論集』 第 9 巻 第 3・4 合併号 河瀬豊教授・清野健教授退職記念号
2005 年	9 月	カードの貨幣・信用論的分析と若干の実証－英独仏を中心に－ 共著 『海外事情研究』 第 33 巻 第 1 号（通巻 66 号） 1-33
2006 年	1 月	「金融システム論」 信用理論研究会編 『現代金融と信用理論』 大月書店
2007 年	2 月	グローバリゼーション下のドル本位制－米国と開発途上国の相互依存関係－ 共著 『海外事情研究』 第 34 巻 第 2 号（通巻 69 号） 熊本学園大学付属海外事情研究所 15-32
2007 年	3 月	歴史としてのグローバリゼーション－バーナンキFRB議長の「教養」と「見識」－ 単著 熊本学園大学経済学部リーガルエコノミクス学科開設記念論文集 熊本学園大学
2007 年		「現代金融システム」の歴史的評価－『資本論』信用理論の現状的解释－ 『信用理論研究』 第 25 巻
2007 年		グローバリゼーション下の「ドル本位制」－「ドル危機論者」は「鳥」になる－（下） 『世界経済評論』 第 51 巻 5 号
2007 年		グローバリゼーション下の「ドル本位制」－「ドル危機論者」は「鳥」になる－（上） 『正解経済評論』 第 51 巻 4 号
2007 年		米国と開発途上国の相互依存関係－グローバリゼーション下のドル本位制－ 『九州経済学会年報』 第 45 集
2008 年		「世界的過剰貯蓄」と「サブプライム問題」－グリーンズパン前、バーナンキ現、FRB 議長の見解に寄せて 『世界経済評論』 第 52 巻 第 4 号 世界経済研究協会
2005 年	10 月	「『証券化』の歴史的含意－生産金融から消費金融への歴史的転回－」 『証券経済学会年報』
2016 年	2 月	現代社会の病弊「双子のポピュリズム」世界経済評論 インパクト
2016 年	3 月	アメリカ大統領選挙にみるポピュリズム 世界経済評論 インパクト

〈著 書〉

1976 年		利子うみ資本－資本関係の最高の物神化－ 編著 『金融論を学ぶ』 有斐閣
--------	--	-------------------------------------

- 1978 年 商業銀行と兼営銀行『現代信用論〔資本制生産と信用〕（有斐閣ブックス）上』 有斐閣
- 1985 年 商業信用 編著 『資本論体系 第6巻 利子・信用』 有斐閣
- 1988 年 国家と財政 編著 『日本の経済社会を考える』 文真堂
- 1991 年 3 月 金融の自由化と地域金融機関 編著『産業経営研究』 第10号 熊本商科大学付属産業経営研究所 73-97
- 1994 年 BIS 規制と日本の銀行 『現代信用論の基本課題』 有斐閣
- 2011 年 『なぜドル本位制は終わらないのか』 文真堂
- 2011 年 11 月 第5章 クレジットカードの理論 共著 『消費者金融論研究』 消費金融論研究会 198-223

〈訳 書〉

- 2007 年 3 月 ベン・S・バーナンキ著「世界的過剰貯蓄と米国の経常収支赤字」 共訳『経済論集』 第13巻 第3・4合併号 123-140

〈研究ノート〉

- 2001 年 3 月 「失われた10年」の断章 - アンシャンレジームの解体 - 『経済論集』 第7巻 第1-4合併号 岩野茂道教授退職記念号

〈調査研究〉

- 2008 年 2 月 巨象・インドの「実像」と「虚像」 単著『海外事情研究』 第35巻 第2号（通巻71号） 熊本学園大学付属海外事情研究所 161-183
- 2001 年 10 月 米国金融再編成 - JP モルガン・チェースの誕生を中心に - 単著『海外事情研究』 第29巻 第1号（通巻第57号） シリーズ53 熊本学園大学付属海外事情研究所

〈書 評〉

- 1984 年 10 月 『発送転換の経済学』 - 長野敏一氏の著書に寄せて - 『海外事情研究』 第12巻 第1号 熊本商科大学海外事情研究所 47-52
- 2011 年 3 月 （巻頭言）国際経済学科の時代と新たな岐路 『経済論集』 第17巻 第1・2合併号（国際経済学科開設20周年記念号）

〈翻 訳〉

- 2008 年 世界的過剰貯蓄と米国の経常収支赤字（ベン・S・バーナンキ著） 共訳『経済論集』 第13巻 第3・4合併号（通巻第27号） 熊本学園

大学経済学会

- 2012 年 9 月 D. ドラー & A. カーレイ「貿易、成長、そして貧困」、K. ワトキンズ、D. ドラー & A. カーレイ「グローバル化を貧困層にとって有益なものにする」『経済論集』 第 19 巻 第 1・2 合併号

〈学会報告〉

- 1993 年 3 月 29 日 BIS 規制と日本の銀行 金融学会西日本部会？
- 2002 年 7 月 13 日 ベンチャーキャピタルと日・米経済 日本金融学会 西日本部会 2002 年度第 1 回例会 九州大学国際研究交流プラザ
- 2002 年 11 月 23 日 直接金融・間接金融再考～金融仲介機能の変貌とリスク問題～ 2002 年度日本金融学会秋季大会 関西学院大学
- 2003 年 5 月 17 日 高齢化社会の資産活用－米国の経験に学ぶ－ 生活経済学会 第 19 回研究大会 東北福祉大学
- 2003 年 7 月 12 日 銀行のモジュール化～米国クレジット産業を例に～ 日本金融学会 西日本部会 2003 年度第一回例会 九州大学
- 2004 年 7 月 24 日 決算システムの高度化・大衆化～クレジットカードを中心に～ 日本金融学会 西日本部会 2004 年度第 1 回例会 九州大学
- 2004 年 8 月 28 日 金融仲介の高度化・大衆化－証券化を中心に－ 信用理論研究学会北海道部会 小樽商科大学
- 2005 年 1 月 30 日 金融システム論 現代金融・信用理論研究会 中央大学後楽園キャンパス
- 2005 年 5 月 28 日 カードの貨幣・信用論的分析と若干の実証－英独仏を中心に－ 日本金融学会 2005 年度春季大会 日本大学
- 2005 年 8 月 27 日 信用と証券をめぐる諸論点 信用理論研究学会 北海道部会 北海学園大学（共同発表）
- 2005 年 10 月 30 日 証券化の歴史的含意－「生産金融から消費金融」への転換 証券経済学会大阪市立大学（共同発表）
- 2006 年 2 月 28 日 現代金融システムの優越的傾向～現代性、革新性は何か？ 貨幣・信用論研究会 中央大学
- 2006 年 5 月 1 日 「現代金融システム」の歴史的評価 信用理論研究学会 2006 年度春季大会大 東文化大学
- 2006 年 12 月 2 日 米国と開発途上国の相互依存関係－グローバリゼーション下のドル本位制－ 日本金融学会西日本部会 2006 年度第 2 回例会 北九州市立大学北方キャンパス
- 2007 年 3 月 16 日 社会主義とは何だったのか：歴史的回顧 国際シンポジウム～チェコ

- の過去・現在～社会主義・資本主義～カレル大学（チェコ）
- 2007 年 3 月 24 日 「近代世界システム論」の分析視点～基軸通貨論と資本移動論の整序～
2006 年度 第 3 回日本金融学会 西日本部会例会 九州大学西新プラザ
- 2007 年 9 月 9 日 忘却された貨幣論～貨幣・金融システムの虚構性と現実性～ 日本金
融学会 2007 年度秋季大会 同志社大学
- 2008 年 11 月 7 日 消費者金融のマクロ的、歴史的位相 第 4 回消費金融論研究会 九州大学
- 2008 年 12 月 6 日 金融資本主義のダイナミズム～「サブプライム金融危機」は「死に至
る病」か？～ 日本金融学会西日本部会 2008 年度第 2 回例会 九州大
学箱崎文系キャンパス
- 2009 年 5 月 19 日 貨幣理論再考－通貨制度と決済機構－ 現代金融研究会 学士会館神田
本館
- 2009 年 11 月 14 日 家計金融の歴史的位相－消費者金融会社の盛衰－ 生活経済学会九州
部会例会 長崎大学
- 2010 年 3 月 26 日 第 11 章 消費金融の理論 第 12 回消費金融論研究会 九州大学